

15. 8. 9
第 399



吾々の飽くまで誠心誠意働きた
いの心何なり専務や工場長を訪
問して懇願した。しかし今日ま
心通知がなかつた。念々解雇を覚悟
となつてしまつた
諸君よ!!
二。上は吾々の飽くまで新會社に
對して飽くまで専任をやらねば
解雇を覚悟せよ。不景氣に對

七月三十一日

を待ち出すかも知れた。心な一筋の
は速かに労働者の利益を守つたために組
を造らねばならぬ。目には見えぬが!!
だから今日の吾々の團身に協力して労働者
力を自覚し美禱せよ!! 今後業員並
組合員の諸君よ!! 組合團結して吾々の
戦ひを意図せよ!! 吾等の今迄の戦ひの勝
利。取めんがけにかなたに意図せよ!! 今日から
の交渉に工場の中から力強く對峙せよ!!
豊島合同労働組合
九共労働者 謹啓

労働秘策一六九八號
大正十五年八月四日

警視總監 太田 政 弘

内務大臣 決口 雄 奉 殿
社會局長 官長 岡 隆 一郎 殿
京都、大阪、神奈川、兵庫、愛知
福岡、千葉、埼玉、静岡
各 府 縣 知 事 殿

王子染色株式會社創立ニ伴フ九共
染工場職工解雇ニ関スル件 (第二報)